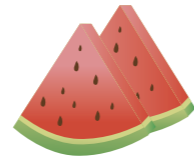


平成 フォーラム



2017
夏
No. 40



徳島の夏。平成夏祭り。

徳島市の阿波踊り開幕日の8月12日。博愛記念病院に暑い夏がやってきました。阿波踊り開幕3時間前にも関わらず院内の体育館では熱いステージが繰り広げられました。

今年のゲストタレントは、ものまね番組で活躍中のミラクルひかるさん。午後3時から始まった夏祭りでは、宇多田ひかるさんのものまねは勿論のこと、研ナオコさんの声まねで爆笑を誘い、笠置シズ子さん、松田聖子さんの歌まねでは、本人さながらのパフォーマンスを披露し、会場の歓喜を誘いました。

ミラクルひかるさんのショーの後は、病院所属の平成連の登場です。阿波踊りの開幕を待ちきれない踊り子が、会場を所狭しと踊ります。体育館にお集まりいただいた患者さんや施設の入居者さんも聞きなれたお囃子に腕を上げて踊ったり、手拍子で参加をしていただきました。

徳島市中心街の演舞場に移動した後は、元阪神タイガースの下柳剛さんも加わり、総勢200名が演舞場へ踊り込みました。

この日のために仕事終わりに練習に励んだ成果を発揮できたと思います。来年もまた職員一丸となって徳島の町に笑顔と元気をいっぱいお届けします。

NEWS!!

グループ関連病院 江藤病院 新築移転のお知らせ

江藤病院は、昭和54年6月に小松島市和田島町浜塚で開院、経営理念である「優しい病院」、院是のスリーS<奉仕・誠実・笑顔>のもと地域医療に従事してきました。

この度、小松島市大林町北浦に新築移転を行うことになり、11月1日開院予定で準備を進めています。

新病院では、今までの診療体制に加え救急医療に積極的に携わります。また、入院病棟は一般病棟(地域包括ケア病床)と医療療養病棟、そして回復期リハビリテーション病棟を新設しリハビリテーションを充実させて在宅復帰を目指します。

平成医療福祉グループの「絶対に見捨てない」に加え、「優しい病院」～奉仕・誠実・笑顔～の理念のもと、更なる地域医療に携わる所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



お問い合わせはこちらまで

☎ 088-669-2166 📠 088-669-3362 ✉ info@hakuaihp.jp

医療法人 平成博愛会



- 健診センター
- 平成デイセンター
- 平成在宅介護支援センター
- 平成ヘルパーステーション
- 訪問看護

〒770-8023 徳島県徳島市勝占町惣田 9
Tel.088-669-2166 Fax.088-669-3362

- 介護老人保健施設 平成アメニティ
- 〒770-8023 徳島県徳島市勝占町惣田 17-1
Tel.088-669-0151 Fax.088-669-0995

社会福祉法人 平成記念会

- ケアハウス エルベ
- 〒770-8023 徳島県徳島市勝占町松成 46
Tel.088-669-2228 Fax.088-669-2477
- 介護老人福祉施設 ヴィラ勝占
 - グループホーム 勝占
- 〒770-8023 徳島県徳島市勝占町松成 43-1
Tel.088-669-3610 Fax.088-669-2236
- 住宅型有料老人ホーム レジデント勝占
- 〒770-8023 徳島県徳島市勝占町松成 50-1
Tel.088-669-5858 Fax.088-669-2236

日本医療機能評価機構認定
(平成 24 年 10 月更新)

働きやすい病院評価事業認定
(平成 19 年 3 月)



参加費無料
県民公開学術研修セミナー

第132回

～未定(決定次第、HPにてお知らせいたします)～

講師 内閣官房地方創生総括官
唐澤 剛(からさわ たけし)先生

日時 平成29年10月28日(土)
18:30～19:30/18:00開場

場所 博愛記念病院 5階講堂

主催 社会福祉法人 平成記念会

※ 整理番号が必要です。事前に下記お問い合わせ先まで
電話/FAX/メールにてお申し込みください。

次回予定

平成29年11月

詳細が決定次第、
ホームページにてお知らせいたします。

詳細はWEBで

www.hakuaihp.jp



皆様のご参加
お待ちしております。

基本理念

絶対に見捨てない医療を提供します。

基本方針

1. 患者様にとって最善の医療を提供します。
2. 生涯を通して充実したリハビリを行います。
3. 救急告示病院として24時間365日受け入れます。
4. 最新医療技術とチーム医療で安心な在宅療養を支援します。
5. 予防医療・入院治療・介護福祉の総合センターとして地域を守ります。

患者権利憲章

1. 全ての患者さんは、人種、国籍、宗教、疾病の種類、社会的地位などにより差別されことなく、適切な医療を安全かつ公平に受ける権利があります。
2. 一人の人間として、その人格、価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
3. 病状の説明、検査や治療の内容、今後の見通しについて、分かりやすい言葉で、納得できるまで十分な説明と情報提供を受け(インフォームドコンセント)、治療方法を自らの意思で選択する権利
4. 治療方法などについて自己決定するために、他の医療機関の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
5. 自分が受けている医療について知る権利を有し、診療記録の開示を求める権利があります。
6. 診療中に得られた個人情報保護され、また、自分のプライバシーが他人にさらされず、乱されない権利があります。

バテるのは夏だけじゃない！ 残暑バテ対策と予防レシピ！

残暑バテ

残暑バテとは厳しい暑さによる夏バテを繰り返して疲れが蓄積されて起こる体調不良を言います。冷たいものをたくさん摂取することで内臓が冷えて 血の巡りが悪くなり、内臓機能の低下を促してしまいます。また冷房が効いた室内との温度差や睡眠不足などにより自律神経が乱れ体調を崩しやすくなってしまいます。残暑バテにならないために暑い時期の疲れを溜めない体にするのが大切です。

残暑バテ対策

★十分な睡眠

きちんとした睡眠をすることで、体の自然治癒力を高めることができます。

★栄養補給

効果的なのはビタミンB1を多く含む食べ物です。

豚肉やうなぎ、にんにくや蕎麦、玄米などに多く含まれています。ビタミンB1は、糖質を分解してエネルギーへと変える働きをします。

★適度な運動

体にあまり負担をかけない軽いジョギングやウォーキングは体を温め、生活リズムが整います。

残暑バテ予防レシピ

☆豚肉とブロッコリーのトマトスープ☆

材料(1人分)

- 豚肉 50g ・ にんじん 20g ・ ブロッコリー 1/4 株 ・ しめじ 1/4 株
- キャベツ 15g ・ トマトジュース 1+1/2 カップ ・ 塩コショウ 少々
- コンソメの素 1/2 個 ・ 水 1/2 カップ ・ サラダ油 大さじ 1/2

1. 豚肉は食べやすい大きさに、にんじんは1cm角のダイス状に切り、しめじ、ブロッコリーは小房に分け、キャベツは5cm角に切ります。
2. 鍋にサラダ油を入れて熱し、豚肉、にんじん、しめじを加えて炒め、ブロッコリー、キャベツを加え、炒め合わせます。
3. 鍋にトマトジュース、コンソメの素、水を入れ、中火で15分間、途中アクをひきながら煮ます。仕上げにこしょうで味を調えます。



ビタミンB1が多い豚肉とクエン酸が豊富なトマトを使ったスープで体を温め、疲れを溜めないようにしましょう。

部門紹介

リハビリテーション科(理学療法士)を紹介します



当院には理学療法士が46名在籍しており、病気や事故により身体が不自由になった方に対して、徒手的に関節可動域訓練や筋力増強訓練、歩行訓練などを行っています。また、最新のロボットを用いたロボットリハビリテーションの提供を併用して行うことで、より早く元の生活に戻ることを目的にリハビリテーションを行っています。スタッフ一同、全力で患者さんを支援します。

第19回徳島県慢性期医療学会

平成29年7月9日(日)、徳島市の徳島グランヴィリオホテルにて『第19回 徳島慢性期医療学会～慢性期DCPについて考える～』が開催され、博愛記念病院を含む徳島県下の各病院・施設から様々な職種の632名が参加しました。



～保岡会長挨拶～

保岡会長の開会挨拶の後で執り行われた表彰では当院からは、第18回徳島県慢性期医療学会 優秀演題表彰では社会福祉士の桃平瞳さん、管理栄養士の折野亜衣さん、理学療法士の今富裕之さん、事務の吉本矩子さんの4名、平成29年度徳島県慢性期医療協会 会長表彰では、介護支援専門員の岸本操さん、介護福祉士の中道友美さんの2名が表彰されました。



～第18回徳島県慢性期医療学会 優秀演題表彰～



～平成29年度徳島県慢性期医療協会 会長表彰～



～矢野諭先生 記念講演～

記念講演では、日本慢性期医療協会 常任理事・慢性期DCP 検討委員会 委員長、医療法人社団 大和会 多摩川病院 理事長 矢野諭先生が『慢性期医療における新たな診療報酬体系の構築～共通言語の「DCPデータ」をいかに活用するか～』について講演され、今後の医療体制や方向性などについて参加した職員も真剣に耳を傾けて聞いていました。



～一般演題発表～

午後からは各会場にて7つの研修委員会シンポジウムと8部門の一般演題発表があり、一般演題発表では当院からは9名の職員が普段から取り組んでいる事や研究成果について発表しました。今年は例年にも増して一人ひとりが日頃の職務に対して真剣に取り組んでいる発表演題が多く、参加者も熱心に耳を傾け、活発な質疑応答があり有意義で実りのある学会になりました。



～研修委員会シンポジウム～



～介護ロボット体験～



～栄養補助食品試飲コーナー～